

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



活躍した年:

1872~1940年



活躍した分野:

宗教家



ゆかりのある場所:

山室軍平顕彰碑



やまむろ

山室

ぐんぺい

軍平

新見市

高総早倉矢井浅里笠
梁社島敷掛原口庄岡
市市町市町市町市



山室軍平は、明治5（1872）年、今の**新見市**哲多町に生まれました。

明治14（1881）年に杉本家の養子になり、漢学者である松浦黙の塾で儒学の教を勉強しました。明治19（1886）年になると、東京の学校で勉強することを望みましたが許してもらえず、14歳で印刷工となり、16歳でキリスト教に入信し、苦学しながら同志社英学校で神学を学びました。

明治28（1895）年、来日したイギリス救世軍の司令官であったE. ライトを訪問し、イギリス救世軍に入隊しました。その後、日本救世軍（軍隊を模した組織をとって行う活動で有名なキリスト教会）の創設に力を尽しました。その活動の中で、『平民之福音』というキリスト教の入門書を書き、布教活動の一環としてさまざまな社会事業（女性救済、児童保護、結核療養所普及、廃娼運動など）を行いました。中でも、明治42（1909）年の12月以来、三脚に鍋をつるし、街頭に出て市民に善意の協力を呼びかけた「社会鍋」は日本で最初の募金活動として有名です。

九州・沖縄での伝道活動で体調が悪くなりましたが、病気の身体で活動をつづけ、昭和15（1940）年、68才で生涯を終えました。

40年以上にわたる活動で手がけた仕事と施設は300にのぼり、近代岡山で社会事業（福祉活動）に取り組み貢献した「岡山四聖人」の一人として有名です。